

社会調査士（2016～2019年度入学者適用）

資格取得のためには資格に対応した科目の単位をすべて修得することが必須である。本学部あるいは全学共通科目では社会調査協会が設定したカテゴリA～Gに対応する開講科目がある。ただし、EとFについてはどちらか一方の単位を修得すればよ

社会調査士カリキュラム	対応科目	単位数	配当年次
【A】 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門（全学共通科目）	2	1・2・3・4
【B】 調査設計と実施方法に関する科目	データ情報処理	2	1・2・3・4
	社会調査の技法（全学共通科目）	2	1・2・3・4
【C】 基本的な資料とデータの分析に関する科目	データ分析入門（全学共通科目）	2	1・2・3・4
【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目	データの科学（全学共通科目）	2	1・2・3・4
【E】 多変量解析の方法に関する科目	多変量解析入門（全学共通科目）	2	1・2・3・4
【F】 質的な調査と分析の方法に関する科目	フィールドワーク論 （旧：交流文化フィールドワーク論 ～ 2019）	2	2・3・4
【G】 社会調査を実際に経験し学習する科目（※1）	演習（3年）A（※2）	2	3
	演習（3年）B（※2）	2	3

※1：【G】について 「演習（3年）A」2単位・「演習（3年）B」2単位の計4単位（該当するクラス）を修得すれば資格申請が可能である。ただし、下の※2も参照すること。

※2：「演習（3年）A」「演習（3年）B」は一部のクラスのみがG科目に対応する（前年度科目「演習（2年）A」の募集時に通知する）。さらに資格申請の条件として、それらが同一年度に開講されたものを修得している場合に限る。詳しくは、社会情報教育研究センターまで問い合わせること。

・カテゴリBは観光学部専門科目、全学共通科目のいずれでもよい。

・観光学部ではカテゴリA・C・D・Eが開講されていないので、それらのカテゴリの科目（ただしカテゴリEについては次項も参照）は全学共通科目あるいは他学部科目から履修する必要がある。

・観光学部で開講されるカテゴリGの「演習（3年）A」「演習（3年）B」で実施する社会調査実習は質的な調査であるため、カテゴリGの履修前または履修中に、観光学部専門科目であるカテゴリF「フィールドワーク論（旧：交流文化フィールドワーク論）」を履修する必要がある（カテゴリFを修得すればカテゴリEの修得は必須ではない）。

・カテゴリA～Eの全学共通科目はオンデマンド授業（抽選登録科目）なので、履修を希望する場合は「V 履修登録」を参照の上、抽選登録期間に申し込むこと。

資格取得自体は、学部指定の科目の代わりに、同カテゴリに指定されている他学部・全学共通科目を、学部で修得した他のカテゴリの科目と組み合わせて申請することも可能だが、卒業に必要な学部の単位と混同しないように注意が必要である。